

# 令和元年度 中部森林技術交流発表会 発表課題一覧表

第1日目 (1月30日)

“○印”は発表者(または代表者)

民 国 別	発 表 部 門	番 号	課 題 名	所 属	配 属・職 名	氏 名	開 始 時 刻	
国 有 林 の 部	森林 技術	1	キッカケ沢土石流災害の発生によるその後の対応について	南信署	総括治山技術官 主任治山技術官 一般職員(治山担当)	○ オオクボ ショウイチ 大久保 秀一 カハシ ススム 高橋 進 ジョウナイ ユウキ 城内 優希	10:15	
		2	花崗岩真砂土における航空実播工の経年変化の追跡～植生と土壌の観点から～	伊那谷 治山	一般職員(治山担当) 流域保全治山対策専門官 治山技術官	○ ソムラ ナオキ 津村 直樹 ミヤザワ マサヒロ 宮澤 昌弘 サトウ ヨシカズ 佐藤 義和	10:30	
		3	治山事業におけるニホンジカ対策と土壌固定の取組について	東濃署	治山技術官 治山技術官 森林整備官	○ スガノ ノブアキ 菅野 暢晃 ジョウクラ ケイスケ 城倉 恵介 エサキ ヨウスケ 江崎 陽介	10:45	
		4	木曾ヒノキ天然更新のためのササ制御とその効果について	木曾署 ふれセン	森林技術専門官 自然再生指導官	○ ナカジマ カズミ 中島 和美 ハヤカワ コウジ 早川 幸治	11:00	
		5	架線集材地域における生産性向上の取組	南木曾 支署 (有)ヤマカ木材	森林整備官 常務取締役	○ チムラ トモヒロ 千村 知博 カワノ タイヘイ 勝野 泰平	11:15	
		6	高密度植栽地における間伐効果と今後の施業について	技セン	森林技術普及専門官 一般職員(業務係)	○ ヤスエ キョフミ 安江 清文 メザキ タクミ 目崎 拓海	11:30	
		7	ICTを活用したニホンジカ捕獲の取組について～わな見回りの軽減の試み～	愛知所	森林技術指導官	○ ヒオキ ヨリアキ 日置 順昭	11:45	
	休憩 (12:00～13:00)							12:00
	8	造林事業の省力化に向けた新たな挑戦	愛知所	一般職員(森林育成担当)	○ ハニオカ チヒロ 埴岡 千尋	13:00		
	9	秋植栽したヒノキ・コンテナ苗が枯死した原因について	飛騨署 岐阜県森林研究所	一般職員(森林育成・ふれあい担当) 専門研究員	○ ヨコタ カズエ 横田 和江 ワタナベ ヒロシ 渡邊 仁志	13:15		
	10	中信森林管理署グリーンサポートスタッフの取組	中信署	一般職員(森林育成・ふれあい担当) 大野川森林官	○ スズキ リホコ 鈴木 里歩子 ヒラトチ ジュンキ 平柝 潤己	13:30		
	11	イヌワシ生息地の森林環境保全整備事業箇所における生息環境改善の試み(中間報告)	東信署 (株)環境アセスメントセンター	森林技術指導官	○ キウチ シゲアキ 木内 重明 ○ ミズカミ タカヒロ 水上 貴博	13:45		
	12	高山・亜高山での長期にわたる植生復元事業～立山ルートにおける緑化木ミヤマハノキの管理について～	富山署 立山ルート緑化研究委員会	立山森林官	○ クワバラ ユウタ 桑原 優太 ○ オオミヤ トオル 大宮 徹	14:00		
	13	野鼠駆除の現状と確実な再造林に向けた今後の取組	東信署	一般職員(森林育成担当) 一般職員(森林育成担当)	○ フナキ タケル 舟木 武 カノウ ヨシアキ 加東 良彬	14:15		
14	ニホンジカによる造林地被害に対する新たな取組について	岐阜署	七宗森林官 一般職員(森林ふれあい担当)	○ フルタ マコト 古田 誠 ナカダニ アツシ 中谷 淳規	14:30			
休憩 (14:45～15:00)								
民 有 林 ・ 学 生 の 部	森林 ふれ あい	15	地域へ届け！私たちの思い～下高井農林高校グリーンデザイン科の取組～	下高井農林高等学校	2年	○ ウエノ タツロウ 上 達郎 ○ コウノ ゴダイ 河野 悟大 ○ イトウ リョウト 伊東 涼斗	15:00	
		16	富山県における優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の省力的な育苗技術	富山県農林水産総合技術センター 森林研究所	副主幹研究員	○ サイトウ マ 斎藤 真己	15:15	
	森林 技術	17	グルタチオン施肥が秋出荷に向けたヒノキコンテナ苗生産へ及ぼす影響	岐阜県森林研究所 岐阜県森林研究所 岡山県農林水産総合センター	主任専門研究員 専門研究員	○ モテキ ヤスカズ 茂木 靖和 ワタナベ ヒロシ 渡邊 仁志 ○ オガワ ケンイチ 小川 健一	15:30	
		18	下刈りを完全省略した造林地におけるヒノキの成長	岐阜県森林研究所 岐阜県森林研究所	専門研究員 主任専門研究員	○ ワタナベ ヒロシ 渡邊 仁志 モテキ ヤスカズ 茂木 靖和	15:45	
		19	新たな森林管理制度の長野県の取組について	長野県林務部 森林経営管理支援センター	森林政策課	○ イデ セイジ 井出 政次	16:00	
休憩 (16:15～16:25)								
講評等 (16:25～)								

第2日目（1月31日）

“○印”は発表者(または代表者)

民国別	発表部門	番号	課題名	所属・職名・学年	氏名	開始時刻
民有林・学生の部	森林技術	20	ドローンを用いた定性と列状間伐木の画像抽出	信州大学農学部 4年 北信森林管理署 森林技術指導官	○ ウラノ 浦野 陽平 ○ イワツカ 岩塚 伸人	10:00
		21	林大版チェンソー安全作業マニュアル～伐倒作業編～	長野県林業大学校 2学年	○ タカハシ 高橋 幸司 ○ シノグチ 溝口 翔太 ○ ミムロ 三室 晃人	10:15
		22	スギ人工林を構成する個体の成長解析及び林分の現況に関する研究	長野県木曾青峰高等学校 森林環境科 3年	○ ササキ 佐々木 隼 ○ ウメト 梅本 倫仁	10:30
	森林保全	23	ロープ巻によるクマ剥ぎ防除の効果について	(国研)森林研究・整備機構 森林整備センター 中部整備局 岐阜水源林整備事務所	○ カリノ 狩野 ユウスケ ○ コバヤシ 小林 カオリ	10:45
	森林ふれあい	24	飛騨の赤松が育てる～森・人・伝統建築～	岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス 3年 (資)戸田材木店・セルバ 専務	○ カノウ 加藤 英聖 ○ アカバナ 赤羽 ジン トダ 戸田 ショウジ 昌志	11:00
	25	林業界における女性の在り方	長野県林業大学校 2学年	○ イチヤナギ 一柳 きくの ○ イワタ 岩田 ツムギ	11:15	
	特別発表	台風19号災害の被害調査におけるICT技術の活用		長野県林業総合センター 育林部 主任研究員	○ トダ 戸田 ケンイチロウ 堅一郎	11:30
休憩（12:00～13:00）						
講評・審査結果・表彰等（13:00～）						

令和元年度 中部森林技術交流発表会 発表課題一覧表

民 国 別	発 表 部 門	番 号	課 題 名	所 属	発 表 概 要
国 有 林 の 部	森 林 技 術	1	キッカケ沢土石流災害の発生によるその後の対応について	南信森林管理署	平成30年10月の台風24号による豪雨により、国有林内から土砂が流出し、流出した土砂が下方のゴルフ場、県道に流下した。直ちに応急復旧工事を行うとともに今後の復旧計画の策定に向けて取り組んだ経緯について発表する。
		2	花崗岩真砂土における航空実播工の経年変化の追跡～植生と土壌の観点から～	伊那谷総合治山事業所	広範囲に点在する崩壊地の航空実播工による緑化について、当初の施工から約20年（一部は5年）経過した箇所の植生と土壌の調査結果の考察を発表する。
		3	治山事業におけるニホンジカ対策と土壌固定の取組について	東濃森林管理署	治山事業における緑化工のニホンジカ被害とマサ土の土壌流出対策について、過去の取組みから出た課題に対し、新工法を導入し考察する。
		4	木曾ヒノキ天然更新のためのササ制御とその効果について	木曾森林管理署 木曾ふれセン	ササ生地における木曾ヒノキの天然更新を図るため、漸伐事業地で平成28年から刈払い等のササ処理の実証試験を行ってきた。これまでのササの繁茂状況の経過からその効果と今後の取組について考察する。
		5	架線集材地域における生産性向上の取組	南木曾支署 (有)ヤマカ木材	南木曾支署管内は急峻な地形が多く、森林作業道作設可能箇所は一部に限定され、架線集材地域における生産性向上実現は必須であり、先進的架線システムの導入や全木集材の結果及び今後の課題等について発表する。
		6	高密度植栽地における間伐効果と今後の施業について	森林技術・支援センター	柱生産を目的に造成された高密度植栽地において間伐率の異なるプロットを設定し、間伐の効果を検証するとともに、現在長伐期施業を行っている林分の今後の施業について(考察)を発表する。
		7	ICTを活用したニホンジカ捕獲の取組について ～わな見回りの軽減の試み～	愛知森林管理事務所	愛知県の国有林において、ニホンジカ被害対策として、個体数調整等を実施しているところであるが、わな捕獲の抱える課題に対して、ICT技術を活用した「捕獲センサー」による「見回り労力の軽減」の試みを報告する。
		8	造林事業の省力化に向けた新たな挑戦	愛知森林管理事務所	造林事業の省力化が課題となっている中、「D材の搬出による地拵コストの削減」と、「個体数管理の徹底によるシカ防護柵コストの削減」に取り組んだので、その成果と課題を発表する。
		9	秋植栽したヒノキ・コンテナ苗が枯死した原因について	飛騨森林管理署 岐阜県森林研究所	高山市久々野町で秋植栽したヒノキ・コンテナ苗が枯死したため、その原因の究明と対策について岐阜県森林研究所と連携した取組の経過を報告する。
	森 林 保 全	10	中信森林管理署グリーンサポートスタッフの取組	中信森林管理署	平成18年度から美ヶ原、上高地、乗鞍の3地域で実施しているグリーンサポートスタッフ(GSS)について、これまで行ってきた活動から各地域における課題をスタッフへのアンケートや指導件数の推移等を基に分析し発表する。
		11	イヌワシ生息地の森林環境保全整備事業箇所における生息環境改善の試み(中間報告)	東信森林管理署 (株)環境アセスメントセンター	東信森林管理署管内のイヌワシ生息地において、国有林施業の観点から営巣環境及び採餌環境の改善策を実施・検討した。本発表では、営巣環境改善策の成果と採餌環境改善策の今後の展開について報告する。
		12	高山・亜高山での長期にわたる植生復元事業～立山ルートにおける緑化木ミヤマハンノキの管理について～	富山森林管理署 立山ルート緑化研究委員会	立山ルート沿線のミヤマハンノキによる緑化施工地において、1次緑化の完了を確認し、緑化木の除伐により2次緑化への誘導とあわせて景観・安全上の改善を試みた取組の経過を報告する。
		13	野鼠駆除の現状と確実な再造林に向けた今後の取組	東信森林管理署	平成27年度から実施している野鼠駆除について、現状の野鼠対策とその成果に基づく課題及び今後の野鼠駆除の方策についての考察を発表する。
		14	ニホンジカによる造林地被害に対する新たな取組について	岐阜森林管理署	ニホンジカによる造林地への被害対策として、忌避剤塗布と並行したわな捕獲による新たな取組について、実施状況及び現状での考察を発表する。

民 国 別	発 表 部 門	番 号	課 題 名	所 属	発 表 概 要
民 有 林 ・ 学 生 の 部	森林 ふれ あい	15	地域へ届け！私たちの思い ～下高井農林高校グリーンデザ イン科の取組～	長野県下高井 農林高等学校	① シブガキ応援隊（獣害対策） 熊の出没対策として、所有者が管理できない柿を収穫。 ② バンブーキャンドル作成（放置竹林対策） 放置竹林を資源と捉えキャンドルに活用。 ③ 木の良さを子供たちに伝える（木育） 保育園児へ生徒が設計・施工した木製玩具を手渡して交流。
	森林 技術	16	富山県における優良無花粉スギ 「立山 森の輝き」の省力的な育苗 技術	富山県農林水産 総合技術センター 森林研究所	富山県では優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の増産に向けて 省力的な苗木生産に取り組んでいることから、本発表会では農 業機械を活用した苗の植え付け作業の省力化や休耕田を有効 活用したコンテナ苗の水耕栽培について紹介する。
		17	グルタチオン施肥が秋出荷に向 けたヒノキコンテナ苗生産へ及ぼ す影響	岐阜県森林研究所 岡山県農林水産 総合センター	ヒノキコンテナ苗を秋に出荷するため、4月中旬にコンテナ (JFA150)へ移植した1年生ヒノキ幼苗にグルタチオン溶液を散 布して、9月下旬～10月上旬の苗サイズ、根鉢形成、重量に及 ぼす影響を検討した。
		18	下刈りを完全省略した造林地にお けるヒノキの成長	岐阜県森林研究所	低コスト再造林を目的に、下刈りの完全省略がヒノキ植栽木 の成長に与える影響を明らかにするため、岐阜県郡上市の造 林地に下刈り省略区と実施区を設け、植栽後5年間の成長を継 続して調査した。
		19	新たな森林管理制度の長野県の 取組について	長野県林務部森林 政策課 森林経営 管理支援センター	長野県で実施している森林管理制度の取組を紹介する。
		20	ドローンを用いた定性と列状間伐 木の画像抽出	信州大学 北信森林管理署	間伐後の伐採木を確認する伐採照査業務に多大な労力を要 しており、業務の省力化が求められている。そこで、本研究では 普及型ドローン(Phantom 4Pro)を用いた間伐木の画像抽出に ついて紹介する。
		21	林大版チェンソー安全作業マニ ュアル ～伐倒作業編～	長野県林業大学校	チェンソーの安全動作と正確なチェンソーワークの取得につい て、林大1学年のような初学者が理解しやすい林大版マニ ュアル作成を進めている。今回、伐倒技術の章について、国内と欧 州の技術基準の違いについての実証実験・考察を加えながら 紹介する。
		22	スギ人工林を構成する個体の成 長解析および林分の現況に関す る研究	長野県木曾青峰 高等学校	本校演習林2林班のスギ人工林において、樹高成長量、直径 成長量、幹材積成長量を把握し、成長過程を明らかにした。各 成長量と林分の相関関係を検討するために葉緑素、日照度も 含めた関係の内容を発表する。
		森林 保全	23	ロープ巻によるクマ剥ぎ防除の効 果について	(国研)森林研究・整 備機構 森林整備セ ンター 中部整備局
	森林 ふれ あい	24	飛騨の赤松が育てる～森・人・伝 統建築～	岐阜県立 飛騨高山高等学校 山田キャンパス (資)戸田材木店・セ ルバ	大阪の企業や地元の林業関係の方と高校生がタイアップし、 山にある木を活用し、山から街への流れを作る方法を学びたい と考え、それぞれの専門分野を通じた実践活動を行ってきた内 容について紹介する。
25		林業界における女性の在り方	長野県林業大学校	林業従事者の殆どが男性であり、男社会とも言える。女性が 林業の場において活躍していくためにはどうすればいいのか？ 各種データ・女性林業経営者・従事者へのインタビュー、一般の 方々へのインタビューを通じ考察した。	
特別 発表		台風19号災害の被害調査におけ るICT技術の活用	長野県 林業総合センター	本年発生した台風19号災害では、県内においても広範囲にわ たり多数の山地災害が発生した。本発表では、当所で調査した 被害状況の報告と、災害調査の効率化を図るためのICT技術 の活用事例について報告する。	